

会計名			準用河川草野川改修事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	工務係		
8	3	2								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	河川の改修							
	目的	流域内の宅地化が進み雨水流出量が増加したため、河川改修を行い浸水被害の解消を図るとともに、魚類・昆虫類等の自然とのふれあいを可能とする河川空間を創造する。				主たる内容	○河川延長 504m ・河川改修延長 504m ・調整池整備 2箇所			
	位置づけ	関連計画 刈谷市雨水対策マスタープラン・境川猿渡川流域水害対策計画 根拠法令 河川法・特定都市河川浸水被害対策法								
	対象者	市民			事業期間	平成13年度～平成35年度				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B事業実績 D実績 O A 実施V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・詳細設計 現地測量 0.004km ² 路線測量 80m 地質調査 1箇所 護岸修正設計 80m 護岸実施設計 80m 堰実施設計 1箇所		・河川改修工事 工事延長 54m 護岸工 107m ・設計 河川実施設計 120m 地質調査 4箇所 調整池予備設計 2箇所		・河川改修工事 工事延長 74m 護岸工 116m 橋りょう工 1箇所 ・設計 調整池実施設計 1箇所		・河川改修工事 工事延長 57m 護岸工 56m 階段工 1箇所 樋管工 1箇所 横越流堰工 30m		
		成果	・改修計画に基づき河川改修工事を延長74mの区間で実施した。 ・今後の整備予定である調整池1箇所の実施設計を実施した。							
課題		・関連事業の主要地方道名古屋岡崎線整備事業及び西境地区土地改良事業と引き続き協議調整を行っていく必要がある。								
A 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
	活動指標	河川改修率（％）			43.7	54.4	63.9	75.2	100	
指標										
他市との比較検証										
C事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		17,956	139,156	145,654	279,624	合計	145,654,200円		
	財源	特定財源	0	35,000	28,200	89,300	委託料	5,551,200円		
		一般財源	17,956	104,156	117,454	190,324	工事請負費	140,103,000円		
	職員人件費②		2,182	2,820	3,986	3,869				
	総事業費（①+②）		20,138	141,976	149,640	283,493				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		市町村土木事業費補助金（県）						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			準用河川草野川改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	浸水被害解消のため、早急に河川改修を実施する必要がある。また、現河川の一部が県道名古屋岡崎線の整備区域となるため、この事業に合わせて改修する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	河川の流下能力を向上させるには河道を拡幅する手法が最適であり、限られた用地内で経済性を考慮した改修に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	準用河川草野川の管理者は市であることから、市で実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	浸水被害の解消を図ることにより、市民の安心安全に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
草野池の農業用利水関係者や、今後、工事区間が重複する県道名古屋岡崎線の事業主体の県と調整を図りながら、改修計画に基づき事業の進捗を図る。					

会計名 一般会計			森前川排水路改修事業				担当部	水資源部	
款	項	目					担当課	雨水対策課	
8	3	2					担当係	工務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	河川の改修						
	目的	森前川排水路上流部の浸水被害の防止を図るため、排水路を改修する。			主たる内容	既設の排水路を改修する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
_____		_____		・排水路改修工事 工事延長 42m		_____			
成果		・計画とおりに工事が完了したことで排水機能が向上した。 ・土砂の流入が防止された。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		改修率（％）			—	—	100.0	—	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	5,994	0	合計	5,994,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	5,994,000 円	
		一般財源	0	0	5,994	0			
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	5,994	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			森前川排水路改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	森前川排水路は、上流側の沖野町付近において過去に大雨により道路冠水の被害が発生している。また、排水路上部の土砂が隙間や破損箇所から流入し陥没が発生しているため対策が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	老朽化により破損した排水路を直した上で流下能力を向上させるには、排水路を拡幅改修する手段が最適である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市が管理している道路における排水対策で、刈谷市が管理している排水路を改修することを刈谷市が実施することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の冠水被害を解消することにより道路利用者の安全に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度完了					

会計名 一般会計			小垣江町地内排水路改修事業				担当部	水資源部	
款	項	目					担当課	雨水対策課	
8	3	2					担当係	工務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	河川の改修						
	目的	小垣江町地内の浸水被害の防止を図るため、排水路を改修する。			主たる内容	既設の排水路を改修する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
_____		_____		・排水路改修工事 工事延長 77m		_____			
成果		・計画とおりに工事が完了したことで排水機能及び道路利用の安全度が向上した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		改修率（％）			—	—	100.0	—	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	8,413	0	合計	8,413,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	8,413,200 円	
		一般財源	0	0	8,413	0			
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	8,413	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			小垣江町地内排水路改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	既設の道路側溝の流下能力では大雨時に水が溢れる可能性があり、また、道路幅員が狭く側溝へ転落する危険性があるため蓋付き排水路として改修する対応が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	現場道路は幅員が狭く雨水貯留管や雨水排水管を整備することは困難であるため、既設側溝を排水路として拡幅する手段が最適である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市が管理している道路における排水対策であるため、刈谷市が実施することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	大雨時の道路冠水被害を解消し、道路利用者の水路へ転落を防止したことにより、道路利用者の安全に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度完了					

会計名 一般会計			熊排水機場樋管改修事業				担当部	水資源部		
款	項	目					担当課	雨水対策課		
6	1	5					担当係	工務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	治水・雨水対策							
	目的	老朽化が進んでいる熊排水機場の排水樋管を改修し、排水機場の機能を改善する。				主たる内容	○工事延長 145m ○樋門工 1基 ○排水樋管工 B1,800×H1,300 114m ○吐水槽工 1基 ○既設樋管撤去工			
	位置づけ	関連計画 刈谷市雨水対策マスタープラン・境川猿渡川流域水害対策計画 根拠法令 河川法・特定都市河川浸水被害対策法								
	対象者	市民			事業期間	平成20年度～平成29年度				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他								
	BDO 事業実績 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		_____		・樋管改修工事 （県発注、負担金） 樋門工 排水樋管工 16m 護岸工 既設樋管撤去工		（H27繰越分） ・樋管改修工事 （県発注、負担金） 樋門工 排水樋管工 16m 護岸工 既設樋管撤去工		・樋管改修工事 排水樋管工 98m 接続柵工 扉室工		
		成果	平成27年度に県と覚書及び協定書を締結後、県が河川改修工事と樋管改修工事の合併工事発注し、平成28年度に繰越した工事が完了した。							
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		改修率（％）				—	—	24.8	100.0	100.0
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （予算）	28年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	23,342	31,351	100,000	合計 31,351,333 円			
	財源	特定財源	0	0	31,351	0	負担金、補助及び 交付金 31,351,333 円			
		一般財源	0	23,342	0	100,000				
	職員人件費 ②		0	1,254	938	2,352				
	総事業費（①+②）		0	24,596	32,289	102,352				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費			0	繰越金						
30年度以降の事業費見込			0							

会計名			熊排水機場樋管改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
6	1	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	老朽化した排水樋管がある二級河川逢妻川は、県により別の工事が行われているため、県の工事と合わせて樋管の改修工事を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	県の河川改修工事と合併した工事施工により、仮設工の共用化が図られ、工事費を低減するすることができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	熊排水機場の管理者は刈谷市であることから、刈谷市で実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	排水機場の機能を改善することにより、治水安全度が向上し、市民の安全に貢献している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
	平成29年度に残工事を市発注工事により施工することで事業が完了する。				

会計名			排水機場改修事業				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	施設管理係	
8	3	2							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	治水・雨水対策						
	目的	排水機場の機械設備等を改修し、常に安定した排水能力を保持するとともに、長寿命化を図り、浸水被害を防止する。			主たる内容	排水機場の機器の更新やポンプの分解整備等を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民	事業期間	～					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 計画V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 北浦排水機場ポンプ操作盤等更新 弁天第2排水機場3号ポンプ分解整備 		<ul style="list-style-type: none"> 北浦排水機場自家発電機更新 浜田第1排水機場電源切替盤等更新 		<ul style="list-style-type: none"> 北浦排水機場2号エンジン更新 浜田第1排水機場5号エンジン分解整備 		<ul style="list-style-type: none"> 弁天第2排水機場運転支援装置更新 浜田第1排水機場4号エンジン分解整備 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 北浦、浜田第1排水機場のポンプ駆動用のエンジン等を更新したことにより、安定したエンジンポンプの運転が可能となり、浸水被害を防止できた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 整備計画に沿って執行しているが、今後も計画的かつ効率的にポンプ等の分解整備を実施していく必要がある。 							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		改修ポンプ数（基）			1	—	2	1	1
活動指標		改修排水機場数（箇所）			2	2	2	2	2
他市との比較検証		「排水機場維持管理計画」に基づき、近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		97,144	96,120	98,249	65,000	合計	98,248,680 円	
	財源	特定財源	52,786	45,366	41,898	50,589	工事請負費	98,248,680 円	
		一般財源	44,358	50,754	56,351	14,411			
	職員人件費 ②		2,534	2,820	2,345	1,897			
	総事業費（①+②）		99,678	98,940	100,594	66,897			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0		市町村振興協会基金交付金			
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			排水機場改修事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	本市の河川沿線は雨水の自然排水が困難な地域(低地)が多いため、雨水排水を目的とした排水機場が不可欠である。そのため、排水機場は常に万全な状態に整備しておく必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	排水機場の新設・更新には、用地の確保も含め相当の時間と費用がかかる。必要最小限の改修により機能を確保することで、コストの縮減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	排水機場という施設の特殊性を考えると、市が主体となって実施すべきである。総合計画に、既成市街地の浸水被害を防ぐため、排水機能の向上を図ることが目的として掲げられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	総合計画との整合性から、市民の生命・財産を浸水被害から守るべく排水機能向上に寄与する事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・短期的には、ポンプ等の機器及び施設の耐用年数は経過しておらず、ポンプ等の分解整備による改修で機能の確保を図ることができるが、中長期的には、耐用年数を経過したポンプ等機器の取替及び施設の更新を図る必要がある。					

会計名			雨水貯留浸透事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	計画係		
8	3	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	治水・雨水対策							
	目的	雨水貯留浸透施設の整備を行うことで、浸水被害の解消と河川への雨水流出量の軽減を図る。			主たる内容	雨水対策マスタープランに基づく雨水貯留浸透施設（調整池など）の整備を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン、境川・猿渡川流域水害対策計画							
			根拠法令	河川法、特定都市河川浸水被害対策法						
		対象者	市民		事業期間	平成15年度～平成58年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・水害対策マスタープラン策定（基本計画） ・子竿調整池詳細設計 調整池修正設計 仮設構造物設計 4級基準点測量 1点他 ・子竿調整池築造工事 地下貯留施設工 1箇所 集水柵工 4箇所		・雨水対策マスタープラン策定（整備計画）		・水田貯留施設測量		_____		
成果		・水田貯留可能な箇所を選定を行い、設置に関する課題点を検討することができた。また、設置候補箇所に関する権利者への説明をおこなった。								
課題		・選定した箇所への水田貯留施設設置に関する合意が得られなかった。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		26年度	27年度	28年度	29年度	31年度				
活動指標	総合治水対策量の達成度（％）	36.8	65.5	65.5	65.6	65.6				
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳				
	事業費①	50,336	10,179	1,620	0	合計	1,620,000円			
	財源	特定財源	7,000	0	0	0	委託料	1,620,000円		
		一般財源	43,336	10,179	1,620	0				
	職員人件費②	10,207	10,185	5,471	0					
	総事業費（①+②）	60,543	20,364	7,091	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		28年度特定財源名称					
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			雨水貯留浸透事業	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	計画係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市域は境川及び逢妻川流域内に位置しており、特定都市河川浸水被害対策法に定められた流域水害対策計画に基づく市事業であり、市民生活の安全性が高まるため、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	既存の水田や池等を活用し雨水の貯留をするため、効果的に進めることができる。 また、他施策は関係者との協議を行いながら最適な手段で推進を図る必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	流域の最下流に位置する刈谷市の地形特性から、市が積極的に事業を推進することで、市民の安全と財産を守ることのできる事業であるため、妥当性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	近年、局地的な集中豪雨が頻発しており、各種対策を進めることにより、床上浸水などの水害の危険性が少なくなり、市民生活の安心安全を高めることができる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・「刈谷市雨水対策マスタープラン」を策定し、計画に基づき各種水害対策の効果的かつ効率的な事業推進、管理体制を構築する必要がある。					

会計名 一般会計			県営たん水防除事業（前新田地区）				担当部	水資源部	
款	項	目					担当課	雨水対策課	
6	1	5					担当係	施設管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	産業振興					
			基本施策	農業					
			施策の内容	生産基盤の強化					
	目的		農業用排水機場等の改修を行い、恒久的なたん水防除対策を図る。			主たる内容	排水機場（前新田）の建替えを行う。		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令		土地改良事業法						
	対象者		市民		事業期間	平成27年度～平成34年度			
	実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		前新田地区法手続業務委託		前新田地区たん水防除事業負担金		前新田地区たん水防除事業負担金			
成果		地元と協議調整を行い、前新田地区の法手続を実施し、県営事業の事業進捗が図れた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		排水機場更新に伴う事業進捗率（％）			—	0.3	6.0	29.5	80
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		0	486	7,938	33,000	合計 7,938,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 7,938,000円		
		一般財源	0	486	7,938	33,000			
	職員人件費②		0	1,254	1,172	1,138			
	総事業費（①+②）		0	1,740	9,110	34,138			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			県営たん水防除事業（前新田地区）	担当部	水資源部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
6	1	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	老朽化した施設を更新することにより、浸水被害を軽減させることができるため、市民生活の安全性が高まる事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	補助制度を活用し、市の負担軽減を図り、事業進捗や経済性が高く効率的な事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	県営事業であるが、土地改良事業であることから、合意のもと進める必要があり、市が主体となって調整を行い、事業の進捗を図る必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	早期に整備を行うことにより、市民サービスの向上に大きく貢献できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・事業効果を高めるため、早期完了に向け関係機関と協議を行う必要がある。		

会計名 一般会計			河川施設等補修事業				担当部	水資源部	
款	項	目					担当課	雨水対策課	
8	3	1					担当係	施設管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					主たる内容	準用河川や排水路、排水機場の浚渫と、準用河川や排水路の緊急修繕、排水機場や樋門などの補修工事を行う。
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	河川の改修						
	目的	排水機場と排水路の排水能力の保持及び衛生面の向上を図り、浸水被害の防止や、市民生活の安全性を確保する。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川薬師川ほか2河川の浚渫工事、準用河川小山川ほか2河川の補修工事 御堂添排水路ほか10排水路の浚渫工事、草野1号排水路ほか4排水路の補修工事 小垣江排水機場ほか2排水機場の浚渫工事、新馬瀬口排水機場ほか7排水機場の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川八角川ほか3河川の浚渫工事 竜ヶ根排水路ほか9排水路の浚渫工事、昭山地内排水路ほか9排水路等の補修工事 北浦排水機場ほか1排水機場の浚渫工事、天王排水機場ほか2排水機場の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川薬師川ほか3河川の浚渫工事、準用河川吹戸川ほか3河川の補修工事 上池排水路ほか15排水路の浚渫工事、半崎地内排水路ほか3排水路の補修工事 浜田第1排水機場の浚渫工事、新馬瀬口排水機場ほか6排水機場の修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 準用河川の浚渫工事 準用河川の補修工事 排水路の浚渫工事 排水路の補修工事 排水機場の浚渫工事 排水機場の修繕 	
成果		・河川施設（準用河川、排水路、排水機場）の浚渫工事を計画的に実施したことや、地区からの苦情、要望箇所について迅速に補修工事を実施したことにより、本来の排水機能が回復した。							
課題		・浚渫について計画的に執行しているが、本来なら施行すべき区間、箇所、回数を十分に履行できない状況も発生してきている。また、施設の老朽化に伴い補修費が増加する可能性がある。 ・河川パトロールによる施設の点検結果に基づいた補修工事を計画的に施工する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①	44,323	42,601	62,290	53,000	合計	62,290,080 円		
	財源	特定財源	4,837	4,884	4,991	4,977	需用費	8,359,200 円	
		一般財源	39,486	37,717	57,299	48,023	工事請負費	53,930,880 円	
	職員人件費 ②	4,998	5,562	7,605	9,506				
	総事業費（①+②）	49,321	48,163	69,895	62,506				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		河川占用料					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			雨水貯留浸透施設設置補助事業				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	計画係	
8	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	治水・雨水対策						
	目的	雨水貯留浸透施設の設置者に対し、補助金を交付することにより、設置件数の増加を図る。		主たる内容	定めた額と設置費用の2/3のいずれか低い額を補助する。なお、補助金の上限は、一団の土地につき20万円まで。 ○補助対象施設は下記のとおり。 雨水貯留施設（2基まで） 雨水浸透ます 雨水浸透管 雨水浸透側溝 透水性舗装				
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン						
			根拠法令	刈谷市雨水貯留浸透施設設置事業補助金交付要綱					
		対象者	市民、事業者	事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・設置件数 22件 （雨水貯留施設18件、雨水浸透ます2件、透水性舗装2件） ・補助金額 496,900円		・設置件数 11件 （雨水貯留施設9件、透水性舗装 2件） ・補助金額 444,400円		・設置件数 13件 （雨水貯留施設11件、透水性舗装2件） ・補助金額 600,600円		・設置件数 25件	
成果		平成28年度新たに13件の雨水貯留施設が設置されたことにより、雨水流出抑制効果が得られた。							
課題		ホームページ、市民だより、出前講座等でPRを行っているが、設置件数は減少傾向にある。雨水貯留施設の効果について、よりよい啓発活動等の検討を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	雨水貯留浸透施設の年間設置数（件）		22	11	13	25	30		
指標									
他市との比較検証	・雨水貯留浸透施設の補助金額は、補助率と上限額を比較して、低い額を支給している。 市名 安城市 知立市 高浜市 刈谷市 補助率（設置費用を対象） 1/2 2/3 1/2 2/3 補助額（200Lタンク） 25,000円 25,000円 22,000円 25,000円								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		497	444	601	1,250	合計	600,600円	
	財源	特定財源	164	85	110	262	負担金、補助及び交付金	600,600円	
		一般財源	333	359	491	988			
	職員人件費 ②		4,576	4,309	3,908	3,111			
	総事業費（①+②）		5,073	4,753	4,509	4,361			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金(国)					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			河川施設等管理事業				担当部	水資源部			
款	項	目					担当課	雨水対策課			
8	3	1					担当係	施設管理係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	河川・池沼								
		施策の内容	治水・雨水対策								
	目的	浸水被害を防止するため、排水機場などの河川施設の適正な維持管理を図り、市民生活の向上及び安定を図る。				主たる内容	排水機場などの河川施設を常に安全かつ適正に稼働・運用できるように保守管理を行う。				
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令									
		対象者	市民			事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場・樋門・汲み上げポンプ、除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場、樋門・汲み上げポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場、樋門・汲み上げポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 		<ul style="list-style-type: none"> 河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場、樋門・汲み上げポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理、清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託 			
成果		・計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。									
課題		・除草委託については、住民等の要望に応じられない状況が増加している。									
指標名称（単位）					実績値			目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		65,639	65,718	70,057	77,672	合計	70,057,380 円			
	財源	特定財源	3,852	3,567	3,735	3,600	報償費	1,072,396 円			
		一般財源	61,787	62,151	66,322	74,072	需用費	11,683,058 円			
	職員人件費 ②		6,758	5,954	5,080	5,690	役務費	19,525,789 円			
	総事業費（①+②）		72,397	71,672	75,137	83,362	委託料	37,767,065 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
28年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 市町村権限委譲交付金（県） 排水機場維持管理受託収入							
30年度以降の事業費見込		0									

会計名			境川・猿渡川流域総合治水PR事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	計画係		
8	3	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	治水・雨水対策							
	目的	総合治水の啓発活動を行い、市民・事業者の治水事業に対する意識向上を図る。				主たる内容	○啓発用雨水貯留タンクを公共施設へ設置 ○イベント開催時にPR用ブースを開設			
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水対策マスタープラン							
			根拠法令	特定都市河川浸水被害対策法						
		対象者	市民			事業期間	平成26年度～平成28年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・市民センター4箇所に雨水貯留タンク4基設置		・市内小中学校21箇所に雨水貯留タンク21基設置。 ・刈谷わんさかまつりにおいて総合治水についてPRを実施		・市内公立幼稚園、保育園24箇所に雨水貯留タンク24基設置予定。 ・刈谷わんさかまつりにおいて総合治水についてPRを実施		_____		
成果		・市民が多く集まる刈谷市わんさかまつりにおいて、総合治水についてのPRを行なった。 ・市民が直接、雨水貯留施設を目にすることができるよう、市内の幼稚園、保育園に雨水貯留タンクを24基設置し、PRすることができた。								
課題		・雨水貯留タンクの設置やPRを行ったが、個人宅の雨水貯留タンクの設置が進まない現状であり、PR手法の再検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	設置箇所（件）			4	21	24	0	0		
指標										
C 実施	他市との比較検証									
	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳				
C 事業コスト	事業費①		668	3,431	3,090	0	合計 3,089,880円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 181,440円			
		一般財源	668	3,431	3,090	0	工事請負費 2,908,440円			
	職員人件費②		3,168	3,917	3,517	0				
	総事業費（①+②）		3,836	7,348	6,607	0				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
	28年度までの累積事業費		0							
	30年度以降の事業費見込		0							

会計名			農業用施設等管理事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	施設管理係		
6	1	5								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興			主たる内容	農業用排水機場などの施設を常に安全かつ適正に稼動・運用できるように保守管理を行う。			
		基本施策	農業							
		施策の内容	生産基盤の強化							
	目的	湛水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の維持管理を図り、農業生産性の向上及び安定を図る。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料、運転保守管理、清掃、電気保安業務委託料 排水路除草委託料 		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料、運転保守管理、清掃、電気・保安業務委託料 排水路除草委託料 		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料 運転保守管理、清掃、電気・保安業務委託料 排水路除草委託料 		<ul style="list-style-type: none"> 排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気、水道、電話料 施設修繕料、火災保険料 排水機場の点検、検査手数料 運転保守管理、清掃、電気・保安業務委託料 排水路除草委託料 		
成果		・計画的に保守点検等を実施したことで、施設及び機械設備の円滑な維持管理が図れた。								
課題		・除草委託については、住民等の要望に応じられない状況が増加している。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		33,407	33,400	31,771	36,618	合計	31,770,844 円		
	財源	特定財源	11,919	12,392	12,668	11,855	需用費	12,399,800 円		
		一般財源	21,488	21,008	19,103	24,763	役務費	9,067,262 円		
	職員人件費 ②		6,758	6,346	5,080	6,070	委託料	10,215,006 円		
	総事業費（①+②）		40,165	39,746	36,851	42,688	原材料費	88,776 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
30年度以降の事業費見込		0		農業用排水機維持管理費補助金（県）						

会計名			農業用施設等補修事業				担当部	水資源部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	施設管理係	
6	1	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	農業						
		施策の内容	生産基盤の強化						
	目的	浸水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の適正な維持管理を図り、市民生活の向上及び安定を図る。				主たる内容	農業用排水機場や農業用排水路の浚渫と、農業用排水機場の補修工事や農業用排水路の緊急修繕を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路の浚渫工事 永井田排水路ほか8排水路 農業用排水機場の浚渫工事 高須排水機場 農業用排水路の補修工事 前田地内排水路 農業用排水機場の修繕 井ヶ谷排水機場ほか7排水機場 		<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路の浚渫工事 中前田排水路ほか9排水路 農業用排水機場の浚渫工事 高須排水機場 農業用排水路の補修工事 中川排水路ほか2排水路 農業用排水機場の修繕 今川排水機場ほか7排水機場 		<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路の浚渫工事 発杭川排水路ほか14排水路 農業用排水機場の浚渫工事 重原排水機場ほか2排水機場 農業用排水路の補修工事 折戸川排水路ほか3排水路 農業用排水機場の修繕 井ヶ谷排水機場ほか9排水機場 		<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路の浚渫工事 農業用排水機場の浚渫工事 農業用排水路の補修工事 農業用排水機場の修繕 	
成果		・農業用排水機場及び農業用排水路の浚渫を計画的に実施したことや、地区からの苦情、要望箇所について迅速に補修工事を実施したことにより、本来の排水機能が回復した。							
課題		・浚渫について計画的に執行しているが、本来なら施行すべき区間・箇所・回数を十分に履行できない状況も発生している。また、施設の老朽化に伴い補修費が増加する可能性がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①	19,951	26,840	21,362	19,000	合計	21,362,400 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,551,200 円	
		一般財源	19,951	26,840	21,362	19,000	工事請負費	15,811,200 円	
	職員人件費 ②	4,998	5,562	3,422	4,563				
	総事業費（①+②）	24,949	32,402	24,784	23,563				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			農業用施設整備事業				担当部	水資源部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	施設管理係		
6	1	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	農業							
		施策の内容	生産基盤の強化							
	目的	農業用排水機場を改修し、その機能保持と性能の向上及び耐用年数を確保することにより、浸水被害の解消を図る。				主たる内容	土地改良施設維持管理適正化事業の助成制度を活用して、農業用排水機場の実施設計及び排水ポンプなどの主要部品分解整備や改修を行う。			
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 高須排水機場 2号ポンプ分解整備 1基 今川・泉田・前新田（新）排水機場実施設計 今川排水機場の排水ポンプの分解整備、泉田・前新田（新）排水機場の鉛蓄電池交換などの改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 		<ul style="list-style-type: none"> 前新田（旧）排水機場 水中ポンプ更新 1基 井ヶ谷・泉田・弁天排水機場の実施設計 井ヶ谷・泉田排水機場の除塵機補修、弁天排水機場の鉛蓄電池交換などの改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 		<ul style="list-style-type: none"> 馬瀬口、九郎兵衛、弁天排水機場の実施設計 馬瀬口排水機場の制御盤、九郎兵衛排水機場の引込盤、弁天排水機場の水位計などの改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 		<ul style="list-style-type: none"> 九郎兵衛、泉田排水機場の実施設計 九郎兵衛排水機場の除塵機、泉田排水機場のポンプ分解整備などの改修工事 適正化事業拠出金（負担金） 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 馬瀬口、九郎兵衛、弁天排水機場のポンプ設備更新等を実施したことにより、非常時においても万全の状態でご各設備が機能できるようになった。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 整備計画に沿って執行できているが、今後も計画的かつ効率的にポンプ等の分解整備を実施していく必要がある。 								
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
	活動指標	改修ポンプ数（基）			2	1	—	1	—	
	活動指標	改修排水機場数（箇所）			4	4	3	2	1	
他市との比較検証	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。 									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		38,709	29,057	60,468	50,461	合計	60,467,600 円		
	財源	特定財源	20,250	10,800	15,300	28,350	委託料	1,101,600 円		
		一般財源	18,459	18,257	45,168	22,111	工事請負費	54,000,000 円		
	職員人件費 ②		3,942	3,996	3,126	3,794	負担金、補助及び交付金	5,366,000 円		
	総事業費（①+②）		42,651	33,053	63,594	54,255				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		土地改良施設維持管理適正化事業費交付金						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名		雨量観測システム管理事業				担当部	水資源部		
一般会計						担当課	雨水対策課		
款	項					目	担当係	工務係	
9	1					4			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	防災体制の充実						
	目的	降雨量等を市のホームページで公開している雨量観測システムの安定的な運用を図る。		主たる内容	○雨量計機器保守管理 ○雨量観測システム保守管理				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	平成25年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 雨量計他機器保守管理委託 雨量観測システム保守管理委託 	
成果		・トラブルなく安定した管理運用ができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		2,123	2,939	3,101	3,106	合計	3,100,788円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,255,040円	
		一般財源	2,123	2,939	3,101	3,106	使用料及び賃借料	845,748円	
	職員人件費②		774	862	1,217	1,217			
	総事業費（①+②）		2,897	3,801	4,318	4,323			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							